

1. 評価結果概要表

作成日 平成20年12月14日

【評価実施概要】

事業所番号	0174100545		
法人名	有限会社 ライフプランニング		
事業所名	グループホーム ひだまりの丘		
所在地	〒085-0805 釧路市白樺台2丁目8番20号 (電話) 0154-92-3360		
評価機関名	(有)ふるさとネットサービス		
所在地	札幌市中央区北1条西5丁目3 北1条ビル3階		
訪問調査日	平成20年12月10日	評価確定日	平成21年2月16日

【情報提供票より】(20年11月25日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成16年4月16日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9 人
職員数	10 人	常勤 3人, 非常勤 7人, 常勤換算3.7人	

(2) 建物概要

建物構造	木造	造り
	1階建ての	～ 1階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃（平均月額）	45,000(生保37,000)円		その他の経費(月額)	水道光熱費 24,000円 暖房費(12～3月)10,000円	
敷金	無				
保証金の有無 (入居一時金含む)	無		有りの場合 償却の有無	有 / 無	
食材料費	朝食	200	円	昼食	450 円
	夕食	450	円	おやつ	100 円
	または1日当たり		円	1ヵ月	36,000円

(4) 利用者の概要(12月10日現在)

利用者人数	9 名	男性	0 名	女性	9 名
要介護1	1 名	要介護2	1 名		
要介護3	2 名	要介護4	5 名		
要介護5	0 名	要支援2	0 名		
年齢	平均 82.6 歳	最低 73 歳	最高 100 歳		

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	白樺台病院、富本歯科
---------	------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

内科だけではなく他科の往診があり、そのほか、かかりつけ医の受診も職員は対応している。管理者は認知症に対する深い思いを持ち、後進の指導に当たっている。利用者の重度化が進み、できることも少なくなってきたが、毎日ラジオ体操を行ったり、散歩や生活リハビリなどで、できるかぎり寝たきりの予防に努めている。新興住宅街にあり町内会もできていない状況であるが、地域の方々との関係作りに努力している。

【重点項目への取組状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)
	地域の付き合いについては、新興住宅街で日中、住民があまりいないなど難しい状態ではあるが、運営推進会議を通して、町内で行なわれる花火大会の案内をいただいて、参加するなど、少しずつ進んできている。来年からは、畑などにボランティアに来ていただけるなどの広がりもある。
重点項目②	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	自己評価表は、職員全員でチェックをして話し合いをし、改善に役立てようとしている。評価結果については、ホーム内の誰もが見られる場所に置き、運営推進会議でも報告をしている。
重点項目③	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)
	ホーム行事の案内や報告のほか、地域にホームのことを知っていただくための話し合い、認知症高齢者SOSネットワークについての説明、口腔ケア研修、災害対策など多岐にわたって話し合いが行なわれている。近隣町内の花火大会の案内により、参加するなど交流のきっかけもなっている。
重点項目④	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)
	家族の来訪時や介護計画に同意をいただくときなどに、意見などをいただけるようにしている。率直な意見が聞かれるよう、ありのままを報告し、意見、苦情などを受けた場合には、真摯に受け止めている。運営者側だけで対応が可能な場合もあるが、必要な場合には職員間で話し合い、対応の共有を図っている。
重点項目④	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	日常的に散歩などでお会いした方には、挨拶をしている。ボランティアに来てくださっている方もいて、来年は畑の管理をしていただけることになっている。近隣町内の行事の案内をいただいて参加もしている。

2. 評価結果（詳細）

外部評価	自己評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	ホーム独自の理念を作り上げている。契約書、運営規定の事業目的にも、地域の人たちと一緒に生活し続けることや地域多世代間交流を謳い実現に努力をしている。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	毎日の介護や会議の中でも理念を実践できるよう、話し合いをしながら取り組んでいる。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	散歩などでお会いした方とは挨拶を交わしたり、市のシルバーフェスティバルに出品、見学など、できる限りの交流に努めている。来年からボランティアで畑の作業に来てくださる方たちも決まっている。	○	新興住宅街で町内会もなく、平日の日中には周りの住宅街にあまり人もいない状態の中、努力をしているが今後も地域との交流が増えることを期待したい。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価表は全員に配布し、チェックして話し合い改善に役立てようとしている。自己評価表、外部評価結果については、ホーム内の誰でもが見られる場所に置き、運営推進会議でも報告している。		

釧路市 グループホーム ひだまりの丘

外部 評価	自己 評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期 待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	行事案内、報告、研修会などを行ない、地域にホームのことを知っていただくため、取り組みなどについて、話し合いが持たれている。会議時に近隣の町内が行なう花火大会の案内などもいただき、交流の機会となっている。	○	運営推進会議は2ヵ月に1回行なわれ、様々な報告や話し合いが持たれているが、現在は外部の出席者が少ないので、今後も客観的な視点からの出席者が確保できるよう、今後の努力を期待したい。
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市の担当者とは必要に応じて、介護保険関連のみではなく、生活保護関連などに関しても、電話などで連絡を取っている。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	毎月、お便りと金銭管理の報告をしている。体調変化時や受診時、行事案内など、その都度電話などでも報告を行なっている。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族の来訪時や介護計画の説明などでお会いしたり、電話での報告時など、意見を聞かせていただけるようにしている。意見については、必要な場合には職員とも相談し、共有して運営に反映できるようにしている。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	離職する職員がいた場合には、できる限りその職員が辞める前に交替の職員を採用し、少しでも仕事に慣れてもらい、利用者と馴染みになってもらえるようにしている。新入職員にはフェースシートなどを読んでもらい、利用者の生活歴などを把握してもらえるようにしている。		

外部評価	自己評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	研修案内は事務所に貼り、会議などでも案内をしている。研修に参加した職員は、参加できなかった職員に報告をしている。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	北海道グループホーム協議会道東ブロックに加入し、相互研修を行なっている。相互研修後は報告書により、報告している。		
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	最初は家族からの相談から始まるが多いが、その後は家庭や病院を訪問したり、見学に来ていただいたりしながら、落ち着いて納得していただけるようにしている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	畑仕事の仕方や食事の味つけ、野菜の切り方などを教えていただいたり、洗濯物干し、茶碗拭きなどを一緒に行なうなどしている。		

外部評価	自己評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	美容室に行きたいなど、普段の会話から、希望などを聞き取るようにしている。困難な場合は、家族との話し合いやそれまでのアセスメントの結果を参考にしながら、利用者が楽しめるようにしている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイディアを反映した介護計画を作成している	担当者がアセスメントを行ない介護計画の原案を作成している。介護支援専門員の補足を行ったり、月1回のケア会議の中で、変化したことなどを議題にして話し合っている。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	基本的には介護計画は3ヵ月に1回作成しているが、対応できない場合には新しく作り直すなど、現状に合ったものとなるようにしている。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	通院介助は基本的に職員が行なっている。行きつけの美容室に行ったり、外食など、希望に応じて柔軟に支援できるようにしている。		

外部 評価	自己 評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期 待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	内科と精神科の往診が受けられるようになっていたが、利用者や家族の希望によって、かかりつけ医にも通っている。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	開設後4年以上経過し、重度化が進んできているため、家族や医師とも話し合いながら、方針を共有できるようにしている。	○	今後は、重度化に関する指針や同意書などを作成する予定でいるので、その取り組みに期待したい。
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	排泄に関することなどプライバシーに係わることは、耳元で話しかけるようにしている。利用者の記録などは、決められた場所に保管している。ケアプランの同意書などについては、鍵のかかる場所に保管している。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	ホームとしての生活時間は決まっているが、寝る時間、起きる時間、食事の時間など、一人ひとりのペースや希望に沿って生活できるようにしている。		

釧路市 グループホーム ひだまりの丘

外部 評価	自己 評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期 待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	重度化によりできることは少なくなってきたが、敷物の用意、テーブル拭き、茶碗拭きなど、できる準備を一緒に行なってもらい、食事をしている。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	以前には夜間入浴も行なっていたが、現在は、夜間を希望する利用者はいないので、行なっていない。入浴を拒否する場合などは、タイミングを見て声かけなどを工夫している。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	重度化により、できることは少なくなってきたが、洗濯物干し、たたみ、米とぎ、テーブル拭き、茶碗拭き、縫い物、塗り絵、カルタ、トランプ、カラオケなど、できる限り役割や楽しみが持てるよう支援している。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	車椅子での移動の利用者も増えてきたが、できる限り散歩、買物、ドライブ、外食など、出かけられるようにしている。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	夜間帯で職員が一人になる時間以外には鍵はかけていない。出かけた利用者は、一緒について歩くようにしている。事務所の窓からも玄関が見えるようになっており、対応しやすくなっている。		

釧路市 グループホーム ひだまりの丘

外部評価	自己評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	利用者も全員参加し、避難訓練を行なっている。避難に要する時間、避難経路なども確認している。	○	来年は、水消火器を使った消火訓練や救命救急訓練を、地域の方たちにも協力いただいて行なう予定なので、期待したい。
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	摂食表や水分のチェック表があり、一日を通じて量を把握している。糖尿病の利用者もいるので、カロリー計算も行ない、血糖値の安定に役立てている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	広い共用空間には随所にくつろげる場所があり、見透しの良い構造となっている。天窓から光が差し、明るい空間になっている。鉢植えの植物が置かれ季節の飾り付けをするなど、落ち着いて過ごせる空間となっている。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	仏壇、位牌、生活の歴史が感じられる家具、家族の写真や家族が用意された写真などが飾られ、居心地良く暮らせるよう工夫している。		

※ は、重点項目。

※ WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票（様式1）を添付すること。